

# わらべうたで楽しいひとときを・・・

裏面 深浦

子どもたちは、日々成長し、這い這いできるようになったり、歩くことができるようになっていきます。言葉の成長も見られ、大人が話しかけると動作や表情で反応したり、単語でお話をしてくれたりします。しかし、どうして泣いているのか、どうしてぐずっているのか分からないこともあります。そんなときは「わらべうた」を歌ってみると、ピタッと泣きやみ、不機嫌だった子どもが静かに聞いたり、リズムに合わせて身体を揺らしたり、声を出したりします。

わらべうたは、親と子を結ぶ遠い昔から伝わる「子育てのわざ」です。ゆっくり、ゆったり歌ってあげるわらべうたは、子どもを落ちつかせ、笑顔を引き出してくれるでしょう。

保育園で人気のわらべうたを紹介します。

## ♪いっぽんばしこちょこちょ

- ① いっぽんばし ② たたいて つーねって ③ かいだんのぼって ④ こちょこちょこちょー！  
こーちょこちょ



子どもの手のひらを指でなぞりながら、くすぐる

手のひらを軽くたたき、軽くつまむ  
(つまむ真似だけしましょう)

人差し指と中指で子どもの腕の上をつたって肩まで登っていく

歌いながら子どもをくすぐる

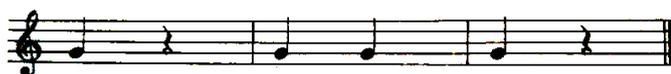
## ♪うえから したから



ハンカチなど布を使います。布を両手でもち、上下にふりながら歌います。優しく子どもの頭や顔をなでるようにしましょう。



うえから、したから、おおかぜ



こい こい こい こい!

## ♪おつきさま えらいの



おつきさま えらいの、かがみのように、



なったり、くしのようになったり、



はるなつ、あきふゆ、にほんじゆを てらす。

絵本を読む前や  
読んだあと、  
お月さまを見ながら...

